

眞嶋 ゆか

講師 総合研究部看護学講座(母性看護・助産学)

研究内容の紹介:

新生児の殿部を清拭する時は、指でおしりふきを把持して拭きます。その時の皮膚に対する指腹部の接触力を測定し(①)、接触力の程度で皮膚バリア機能がどのように変化するのか(②)を調査しています。新生児のおむつ皮膚炎を予防に向けて、拭き方に着目して研究を進めており、本研究はその中の1つのステップになります。

KEYWORDS

- 清拭
- 接触力
- 経表皮水分蒸散量

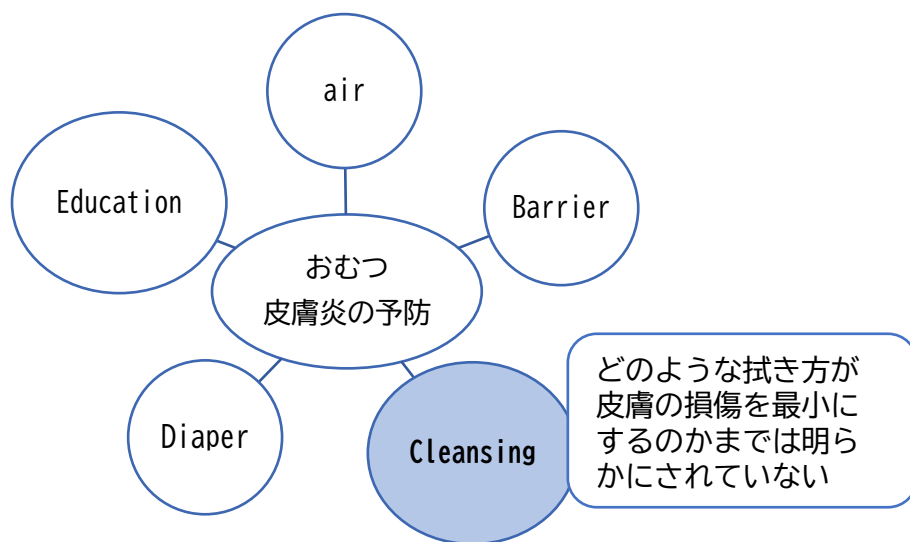
SEEDS

- スキンケア
- 母性看護学・助産学に関すること

NEEDS

- 皮膚の摩擦に関連する助言

おむつ皮膚炎予防のABCDE



①20代女性を対象に、自分の前腕と皮膚モデルをおしりふきで拭き、その時の接触力を測定しました。
測定は、触動作センサHapLog®を使用しました。

②①および先行研究を基に、異なる接触力で皮膚を拭いた時の皮膚バリア機能を調査します。

接触力を一定に保つため、触動作センサHapLogを研究者が装着して、対象者の皮膚を拭きます。

その後、一定の時間で皮膚バリア機能(TEWL(経表皮水分蒸散量)、紅斑値)を測定し、その推移を調査します。